

歯科口腔保健の推進に関する基本的事項における目標一覧

1. 口腔の健康の保持・増進に関する健康格差の縮小の実現

2. 歯科疾患の予防

3. 生活の質の向上に向けた 口腔機能の維持・向上

4. 定期的に歯科検診又は 歯科医療を受けることが困難な者

①乳幼児期	具体的指標	現状値→目標値	具体的指標	現状値→目標値	具体的指標	現状値→目標値
	・3歳児でう蝕のない者の増加	・77.1%→90%	・3歳児で不正咬合等が認められる者の減少	・12.3%→10%	(1)障害者 ・障害(児)者入所施設での定期的な歯科検診実施率の増加	・66.9%→90%
②学齢期 (高等学校を含む)	・12歳児でう蝕のない者の増加 ・中高生で歯肉に炎症所見を有する者の減少	・54.6%→65% ・25.1%→20%				
③成人期 (妊産婦を含む)	具体的指標	現状値→目標値	具体的指標	現状値→目標値		
	○20歳代で歯肉に炎症所見を有する者の減少	・31.7%→25%	○60歳代の咀嚼良好者の増加	・74.3%→80%		
	○40歳代で進行した歯周炎を有する者の減少	・37.3%→25%				
	・40歳の未処置歯を有する者の減少 ○40歳で喪失歯のない者の増加	・40.3%→10% ・54.1%→75%				
④高齢期	具体的指標	現状値→目標値				
	・60歳で未処置歯を有する者の減少	・37.6%→10%				
	○60歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	・54.7%→45%				
	○60歳で24歯以上を持つ者の増加 ○80歳で20歯以上を持つ者の増加	・60.2%→70% ・25.0%→50%				

5. 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備

具体的指標	現状値→目標値
○過去1年間に歯科検診を受診した者の増加	・34.1%→65%
○3歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県の増加	・6都道府県→23都道府県
○12歳児の一人平均歯数が1.0歯未満である都道府県の増加	・7都道府県→28都道府県
・歯科口腔保健の推進に関する条例を制定している都道府県の増加	・26都道府県→36都道府県

※○は「健康日本21(第2次)」と重複しているもの